

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

鉄道業務ないがしろにするな

続発する重大事故 合理化、コスト・要員削減が原因



重大事故が相次いで発生しています。「単線区間の上下線から同時に進入」「旅客列車が貨物線に進入」「加圧状態のまま作業が行われ感電死」「電化柱と走行中の列車が衝突」——本来ならどれも考えられないものです。

深刻な鉄道の安全崩壊

8月15日、東海道新幹線は台風7号の影響で計画運休となり、16日には静岡県内の大雨で5時間以上の運転見合わせが発生しました。問題は17日にまで混乱が続いたことです。新大阪での分離運転が行われました

- ▷ 3月2日 川越線・単線区間で上下線電車が同時進入
- ▷ 5月23日 東海道線普通列車が貨物線に進入し緊急停止
- ▷ 6月16日 内房線・上総湊～竹岡間で作業員が感電死
- ▷ 8月6日 東海道線・藤沢～大船間で電化柱衝突
- ※ 8月17日 東海道新幹線で台風・大雨後も列車混乱

がホームも引き上げ線も列車が詰まって動かさない状態に陥りました。列車運用で最もやっではないならぬことのはずです。

8月5日には東海道線の藤沢―大船駅間で約80mで走行中の列車と傾いた電化柱が衝突する衝撃的な事故が発生しました。

JR東は15年にも山手線で電化柱倒壊事故を起こしています。しかし、「原因」とされたのは表面的なもので、「対策」も本質的な問題には何一つ触れませんでした。

「IT企業化」攻撃に反対の声を

問題の根本は業務外注化です。合理化、コスト・要員削減、鉄道業務の軽視です。

鉄道業務は、膨大な本数の列車を気象条件などの様々な条件も判断しながら運行しなければなりません。車両の検修、保線、電力などのメンテナンスも欠かせません。24時間365日の業務です。

*

「鉄道も経営するIT企業になる」などと言って、鉄道の安全を守る現場の業務、技術や経験をかえりみなくなった結果が続発する重大事故なのです。

鉄道の現場で働く者を「何でも屋」のように扱えば安全は崩壊せざるをえません。